

ソフトテニス 豊成・双子の高橋姉妹

息の合ったプレーで健闘

大曲仙北

大曲仙北中学校総合体育大会は12、13日、大曲市大曲町テニスコートなどで女子ソフトテニスをを行った。12日の個人2回戦は、来年度に中仙中に転入する豊成中から唯一の3年生ペア、双子の高橋莉子選手・莉緒選手が出場。1-4で敗れたが、最後まで息の合ったプレーで奮闘していた。

しかし、その後は重傷になって動きが鈍くなり、逆転は果たせなかった。

試合後、「思うようにプレーを決められなかった」と悔んだ莉子選手。それでも、狙いを定めて打っていた。基

莉緒がいつもより打ち遅れてくれた」と話し、莉緒選手も「姉が長いコースを突いてくれた」と振り返った。両部

監督は「足を生かして、狙いを定めて打っていた。基

試合は降雨のため予年より大曲に遅れて始まった。対戦相手は西仙北、莉子選手・莉緒選手は常磐サマーが決まらず、相手に主審権を奪われた。苦しい展開から抜け出したのが0-2で迎えた第3ゲーム。姉の莉子選手が相手を揺さぶるサーブを打ち込み、返されると妹の莉緒選手が力強く踏み込んでボレーを決めるなど持ち味を發揮。このゲームをストレートで奪って1-2とし、両者を倒した。



来年度、中仙中に転入する豊成中最後の世代として出場した高橋莉子選手(左)と莉緒選手のペア



本をしっかりと練習してきた2人は一瞬性双生児。双子は「試合のチームを引いて張ってき

た。莉緒選手は「最後だからと頑張る、お母さんへの感謝を込めて頑張っていました。両校も同じく豊成中の卒業生。母・美幸さんは「大きく頑張った。先生、先輩、後輩みんなが優しく温かいこの学校だから、来年度までこのまま、豊成中を卒業して良かった」と目を潤ませた。

豊成中として戦った最後の世代と目を潤ませた。別監督は「強敵に相手に向かっていく。豊成中を引いてくれた。この大会の経験がこれから生かしてほしい」とエールを送った。(高橋きつき)

地方点描

子ども弁当

「子どもが温かいご飯で笑顔になってくれたり、ほっと安心してくれたりしたらいいなと思って」大曲市大曲丸の内町でランチを出す居酒屋「ピストロ ノモカ」を営む佐藤美穂さんが、昨年8月のオープン以来、無料で子どもに食事を提供している理由を語ってくれた。子どもを笑顔で温かい気持ちに心が和んだ。

シングルマザーとして2人の女の子を育てる佐藤さんは、保険会社などで懸命に働いて大の好きな料理の店を開業。その際、どうしてもやりたかったのが、親が共働きの子や経済的に困窮する世帯の子に食事を提供すること。子どもを笑顔で温かい気持ちに心が和んだ。

県南

横手支社

大曲支局

角館支局

0187-63-0345

0187-63-0163

0187-54-2345

7月14日の秋田さきがけ新聞に、本校女子ソフトテニス部の高橋莉子さん、莉緒さん姉妹の活動が紹介されました。新聞にはカラー写真2枚で取り上げられました。